

平成 27 年 5 月 20 日

各関係機関の長 殿

金沢大学環日本海域環境研究センター長

早川 和一 (公印省略)

研究領域部門 統合環境領域 助教候補者の公募  
について (依頼)

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

金沢大学環日本海域環境研究センターでは、環日本海域における研究・教育の充実を図るために組織改革を行い、それに基づく人事を進めています。この度、当センターが掲げる主要研究課題のひとつである「東アジア地域における化学物質の動態把握：大気-陸域-海洋間の相互作用と環境変化に伴う応答性の解析」の推進を目指した研究組織強化の一環として、研究領域部門 統合環境領域において下記の要領により助教を公募いたします。

つきましては、貴機関関係者への周知および適任者の推薦について、ご高配を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 募集人員：助教 1名
2. 募集分野：研究領域部門 統合環境領域
3. 任 地：低レベル放射能実験施設（石川県能美市和気町）
4. 研究教育担当：

尾小屋地下実験施設の管理運営を行い、極微量放射能の放射性核種をトレーサーとして活用し大気-陸域-海洋間の化学成分の動態を統合的に解析する研究に従事できること。当センター内外の関連分野の教員と協力し、当センターが推進する研究・教育活動に積極的に参画する。また、本学の大学院（自然科学研究科物質化学専攻）並びに学士課程（理工学域物質化学類）における教育と研究指導を担当する。英語による授業担当が課される場合がある。

5. 着任（採用）予定：平成 27 年 10 月 1 日以降のできるだけ早い時期
6. 応募資格：

博士の学位を有し、天然環境における放射性核種の動態研究分野で卓越した水準の研究実績・放射能の計測に関して経験があり、第一種放射線取扱主任者資格を有する、あるいは採用後に取得する意欲のある方が望まれる。着任後も環日本海域に関わる高いレベルの研究活動を推進できること。さらに、学士課程・大学院教育に情熱を注げること。国籍は問わないが、研究・教育・運営に支障がない程度に日本語が使えること。

7. 提出書類（各 1 部）：

- (1) 履歴書（A4 判，写真貼付，学歴，学位論文タイトルと学位取得年月日，職歴，受賞歴，所属学会，参加したプロジェクト研究歴等の情報を含むこと）
- (2) 業績目録（査読付き雑誌に掲載された原著論文，その他の雑誌に掲載された原著論文，総説・解説，著書等に区分し，発表年順に記載すること．その他，参考になるもの）
- (3) 主要論文等の別刷またはコピー5 編
- (4) 競争的資金の獲得状況を示すリスト（研究代表者及び研究分担者として獲得した研究資金の名称，申請課題，期間，金額を明記すること）
- (5) 国内の学会や国際会議等における招待講演の有無及びシンポジウムや学会等の企画・運営の経験を示すリスト
- (6) これまでの研究概要・教育実績（自由形式，A4 判，1500 字以内）
- (7) 着任後の教育・研究に関する抱負（自由形式，A4 判，1500 字以内）
- (8) 応募者について問い合わせ可能な方の氏名，所属，連絡先（2 名程度）

なお，応募者には講演や面接のためにご来学頂くことがあります，その際にかかる経費は応募者でご負担願います．また，提出して頂きました履歴書等の書類は当該選考委員会において個人情報に留意して処理し返却はいたしません．予めご了承の程お願い致します．

8. 応募締切：平成 27 年 7 月 31 日（金曜日）午後 5 時（必着）

9. 書類提出先：

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学環日本海域環境研究センター長 早川 和一（TEL：076-234-4413）

封筒には「研究領域部門 統合環境領域助教応募書類在中」と朱書き「書留」にて送付して下さい．

10. 問い合わせ先：

〒920-1192 石川県金沢市角間町

金沢大学環日本海域環境研究センター長 早川 和一

TEL/FAX：076-234-4413，E-mail：hayakawa@p.kanazawa-u.ac.jp

11. その他：

※金沢大学では，教員の英語による教授能力の向上，英語による開講科目の増設等を前提とした英語教育の強化に取り組んでおります．

※就業規則等については，下記の URL をご覧下さい．

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/internal/staff/regulations/index.html>

※金沢大学では，男女共同参画を積極的に推進しています．詳しくは下記の URL をご覧下さい．

<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

以上